TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られた II 明らかになった偽善
マタイによる福音書 23:13-22

2023年3月18日 & 19日
余沢 武 牧師

I. イントロダクション

こんにちは。先週は、律法学者とファリサイ派の人々は自分たちがどんなに罪深いのかわからず、自分たちの罪がいかに悪く、赦されるためには、いけにえと、「御言葉」に従うための神の助けが必要である、ということが理解できなかったことを見ました。

これにより、ファリサイ派の人々は、罪のために犠牲を払い「御言葉」に従うために神の助けが必要であると、人々に示すことができなかったのです。そしてそのために、謙虚になるどころか、高慢になりました。今日はイエスがどのようにその問題を指摘するかを見ていきましょう。その前に祈りましょう。

II. 明らかになった偽善
(1) 偽善者

マタイ 23:13 を開きます。イエスの言葉です。
「律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたがた偽善者に災いあれ。あなたがたは、人々の前で天の国を閉ざしている。自分が入らないばかりか、入ろうとする人をも入らせない。」

イエスは律法学者とファリサイ派に向けて 7 つの災いの宣言を始めました。ここで言う「災い」は、悔い改めの無い者に下る神の裁きを表す言葉です。
イエスによる最初の災いの理由： 彼らは「人々の前で天の国の扉を閉ざしている」

ユダヤ人の歴史において、アハズ王の時は最も暗黒だった時代の一つに数えられ、ユダにおける最悪な王の一人で、考えられないことをしました。彼はエルサレムの神殿の扉を閉ざしたのです。

人々が「神のおわす場所」へ入るための扉を閉めたのです(歴代誌下 28:24)。人々が「神が永遠におわす場所」つまり「天国」へ入るための扉を閉じること、これよりもひどい事はひとつしかありません。これはイエスの律法学者とファリサイ派たちに対する告発でした。

アハズ王と違う点は、律法学者とファリサイ派たちは神への献身と人々の信仰指導者であることで、おごり高ぶったのです。イエスは言いました、彼らは人々をいのちではなく死へと導いていると。
しかしまだあります。イエスは続けます。**15 節「律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたがた偽善者に災いあれ。あなたがたは、改宗者を一人つくろうとして、海や陸を巡り歩くが、改宗者ができると、自分より倍も悪いゲヘナの子にしてしまう。」**

イエスによると、彼らは伝道の努力と同じことをしているそうです。
律法学者とファリサイ派の人々は神を知らない異邦人に会い、伝道をしていました。中には神を信じてこれらを始めようとする人もいたでしょう…

① 十戒に従う
② 偶像を拝まない
③ 安息日を守りシナゴーグに行く
④ 全ての道徳の教えに従う。もうふしだらなことはしない、もう盗まない、もうウソはつかない。
⑤ 結果：イエスが言うには彼らは「倍も悪いゲヘナの子」になる--- 彼らはまだ地獄に行くかもしれないのです。

伝道するにあたっては注意点があります。私たちもこう教えることがあります。

① 十戒に従う
② 偶像礼拝--- 寺、神社、先祖や仏壇を拝むこと、を止める
③ 毎週教会へ行く
④ 聖書にある道徳的な教え全てに従う---もうふしだらなことをしない、盗まない、ウソをつかない。
⑤ 結果：「倍も悪いゲヘナの子」---その人はまだ救われていません。

なぜでしょう？それは「ファリサイ派」のように、どれ程自分が罪深いか見えていないからです。そのため、自らの罪の犠牲と、御言葉に従うための神の助けが必要なほど自分が邪悪であることを自覚できないのです。だから、彼らは赦しと助けを神に叫び求めることはないでしょう。

これこそイエスが与えに来たものです。「エルサレムの神殿」が象徴するもの---これが福音なのです！ 「ファリサイ派たち」はこれを見逃していました。「彼らに従う人々」も見逃したのです。

だから、「福音」を語らずに悪を止めることを世に訴えるだけではだめなのです。イエスを通した神の「赦し」と「助け」がなければ、私たち自身の悪を自分で止めることなどできないと知っているからです。

良い目的で、そして社会をより良くするための多くの方法があります。そのほとんどが正しい動機であると言えるでしょう。しかし教会としては、私たちは福音を伝えることに集中するのです。福音だけが人を変える力を与えられることを私たちは知っているからです。

こんなことは言いません:「これを止めてあれを止めて！ 私がどれだけ正しいか見て！私がやることをやりなさい！」 いいえ、こう言うのです。「私がいかに悪いか見てください！イエスさまがどう私を変えているか見て！イエスさまにあなたも変えてもらいましょう！」

(2)　ものの見えない案内人

なぜ律法学者とファリサイ派は自分たちの罪が見えなかったのでしょうか？イエスは続けます。**16-19節: 「16 ものの見えない案内人、あなたがたに災いあれ。あなたがたは、『神殿にかけて誓っても、それに縛られることはない。だが、神殿の黄金にかけて誓ったら、それを果たさねばならない』と言う。17 愚かで、ものの見えない者たち、黄金と、黄金を聖別する神殿と、どちらが尊いか。18 また、『祭壇にかけて誓っても、それに縛られることはない。だが、その上の供え物にかけて誓ったら、それは果たさねばならない』と言う。19 ものの見えない者たち、供え物と、供え物を聖別する祭壇と、どちらが尊いか。」**

数週間前、ヤコブの学びの時にこの点に簡単に触れました。もう一度この背景を説明しましょう。ユダヤ人は「神の名」に懸けた「誓い」だけが有効だと信じていました。

ですが、イエスの時代は「神の名」を唱えることを避けていて、その代わりに「天国」や「神殿」、「神の玉座」のような言葉を使っていました。それは、約束を破る時の抜け道として人々はそれらの言葉を使い始めたのです。

例えば、神の働きに決まった金額を捧げると「宣言」し神殿の名にかけて「誓う」とします。もし、気が変わったとしたら、こう言うのです。「神の名に懸けて誓ったわけじゃないしね」 これを適応するために、ファリサイ派は神の名に代る言葉を決めていました。例えば、神殿にかけた誓いは無効。神殿の黄金にかけた誓いは有効。
祭壇にかけた誓いは無効。祭壇の供え物にかけた誓いは有効。

そして、イエスはそのような習慣を全て糾弾しました。何にかけて誓おうが、その言葉はつねに真実であるべきである。**「しかし、あなたがたは、『然り、然り』『否、否』と言いなさい。」(マタイ 5:37a)**

さらに、黄金が神殿より重要となることなどない。「黄金」は神殿で用いる金属に過ぎない。しかし、神殿は神ご自身の象徴なのだ！
供え物が祭壇より重要となることなどない。供え物の動物は私たちと私たちの感謝の象徴だ。しかし、祭壇は供え物を受け取る神の象徴なのだ。

そして、イエスの次の言葉です。**20-22 節「20 だから、祭壇にかけて誓う者は、祭壇とその上のすべてのものにかけて誓うのだ。21 神殿にかけて誓う者は、神殿とその中に住んでおられる方にかけて誓うのである。22 天にかけて誓う者は、神の玉座とそれに座っておられる方にかけて誓うのだ。」**

言い換えれば、何にかけて誓っても、神が見ているということです。ですが、本当の問題を見逃さないでください。なぜ、彼らはこの事を議論しているのか？きっかけとなる罪があるのでしょうか。私たちは「偽

物の証」を与えないようと「十戒」で命じられたでしょうか？

根本的な問題を見逃さないでください。彼らは「御言葉」をはぐらかすための抜け道をつくっているのです。「信仰の規律」や、常に真実である「御言葉の意図」を求める代わりに、「御言葉」を自分たちの都合に合わせて、罪を犯さずにごまかそうとしているのです。

以前若い男性に聞かれたことを思い出します。「彼女とどのくらいだったら、進んでも罪にはならないですか？」 誰かの質問の意図が、「神を喜ばせること」を追求しない---聖く純粋ではない時もあります。しかし、それは「御言葉」を逸脱することなく、その人自身を喜ばせる行為です。

これは「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」の逆です。つまりこの質問は「これならいいですか？」「あれならいいですか？」と聞くものではありません。私たちが自らに問うべきは、「御言葉」の基本的な教えに基づきどうしたら神が喜ぶだろう、なのです。

ファリサイ派の問題は、神の望みを追求しない点です。自分たちの望みを追求しているのです。彼らは何に従っているか自覚していました。そして神は彼らが何に従っているか知っていました。

私たちも自分に同じ質問をすべきです： 私たちは「神の望み」を追求しているのか、それとも「自分の望み」を追求しているのか？昨今の教会では、クリスチャンは三つの領域で苦しんでいるようです。

① 性的不品行。私たちは「御言葉」で神が語ることを追求するのか、「自分の望み」か？
② 家庭や教会での男女の役割。ここでも、私たちは「御言葉」で神が語ることを追求するのか、「自分の望み」か？
③ 権威に従うこと。政府や、仕事、教会、家庭にもあります。私たちは「御言葉」によって神が語っていることを追求するのか、「自分の望み」か？

「これならいいですか？」「あれならいいですか？」ということではないのです。へりくだって「御言葉」による「神の意志」を追い求めるのです。

ファリサイ派は自分たちの言うことは真実であるべきと知っていました。罪を犯していたのです。そして、へりくだって罪を告白し、「神の赦し」と「助け」に寄り頼む代わりに、彼らは「抜け道」を用意したのです、そして罪の意識を感じることなく御言葉をかわすことができました。

私たちは「性的不品行」「男女の役割」「権威に従うこと」において、御言葉に従わなければならないことを知っていながら、どうしようもなく罪人となります。そして、へりくだって罪を告白し、神の赦しと助けにより頼む代わりに、多くの人がそれをはぐらかそうとします。

聖書はこう言います。**「人は目に映るところを見るが、私(主)は心を見る。」**

それゆえ怒りも殺人も神の目には同じなのです。どちらも汝の「敵」を愛していません。

それゆえ欲望で見るだけも、姦淫しても神の目には同じなのです。「聖さ」を追求していません。

ただ「神の意志」だけを追い求め始めると、私たちは皆、イエスの元に行く必要性を見ることになります。そして、自分が「救いようのない罪人」だと認める。
イエスが「私たちの罪」のために十字架で死に、蘇ったことを受け入れる。
へりくだって「神の聖霊」を受け入れ、私たちは自分を変えることができ、以前とは違う生き方を始める。生き方で謙虚さと善と神の聖さを現す。

まだこれらのことができていない方は、イエスのもとに来てください。今日、神に赦しと助けを求めましょう。「いのちの扉」は目の前に開けています。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1223jp

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
4 月 15 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101 を修了した TBC メンバー

★クラス 301
賜物発見クラス
5 月 13 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101/201 を修了していること

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org